



川西小だより

笑顔で『明るく 楽しく 元気よく』

令和6年7月19日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『ことばをたいせつに』 校長 山下 文博

前回の川西小だよりで「川西小の子どもたち同士のやり取りの中で、気になる言葉が聞こえて来ることがあります。」「言われて嬉しい言葉、『ありがとう』を増やしていこう。」といった内容をお伝えしたかと思います。

あれから、いくつかのクラスで『ありがとう』を意識して日々の学校生活を送ってくれているようで、黒板にその意識付けを提示しているクラスもあり、とても嬉しく思っています。

またほぼ同時期に、低中高学年ごとにテーマを決めて人権教育の授業も展開しました。低学年は「ボクとぼく」という絵本を使い、自分とは好きなものや考えがちがういろいろな友だちがいることを知る。中学年は「ぽかぽか言葉とちくちく言葉」というテーマで、相手の気持ちを考えながら、自分の想いを伝えることの大切さに気づき、自分も相手も大切にしようとする態度を育てるといねらいて。そして高学年は「ことばと笑い」という教材を用いて、「ことば」と「笑い」に対する鋭い感覚、問題意識を高めることで、個々の人権感覚を養うと共に、「言っではいけない」「ダメ」ではなく、仲間のことを理解しているからこそ意識的に使わない、使おうとしないクラスをつくる、をねらいとして学習を進めました。

それぞれの学年、学級で真剣に学習に取り組む姿が見られ、今までほんとうに軽い気持ちで発していた言葉や態度が、相手のことを傷つけていたということにも気づくことができたのではないのでしょうか。

学校生活の場面だけでなく、日常の様々な場面で、今回学んだことを意識し、言葉を大切にして、よりよい友だち関係が培われていくことを期待したいと思います。

さて、明日から40日間、子どもたちが待ちに待った夏休みになります。40日間という長いように思われますが、あっという間に過ぎていきます。充実した夏休みにするためにも、だらだらとした生活で時間を使うのではなく、できれば、お家の方と一緒に夏休みの計画を立て、一日一日を大切にしたいと思えます。

保護者ならびに地域の皆様、夏休みは私たち教職員も二学期に向け授業づくりをはじめ、すべての教育活動がより質の高いものになるように研鑽に励み、子どもたちにとってよりよい教育を提供できるよう努めたいと思っております。

この夏は特に酷暑になると言われております。お子様の健康管理をはじめ、何かとご配慮のいる夏休みとなりますが、二学期に元気な姿を見せてくれるのを心待ちにしております。

